

ーシャル & エコ・マガジン

社会をおもしろくするアイデアがいっぱいの女子特集!

ソトコト

No.170
SOTOKOTO
August 2013
800YEN

特集

社会を動かす女子

ソーシャル
女子
84

84 Social Beauties





58 ワクワーク・イングリッシュ
山田貴子さん
TAKAKO YAMADA

フィリピンの若者の
夢と自立をサポート。

日本とフィリピンをつないだオンライン英会話事業やコミュニカカフェ事業を行っている『ワーク・イングリッシュ』代表の山田さん。「生まれた環境に関係なく、だれもが自分の可能性を信じて夢見る力を持って、夢を実現できる社会をめざして活動しています!」と語る。2014年には、フィリピンの貧困層の子どもや若者が学んだり働いたりできる『ワークセンター』(職業訓練&インキュベーションセンター)を開設予定だ。



フィリピンの子どもたちと夢を共有。「夢の数だけ事業をつくります!」と山田さん。

Q 落ち込んだときどうしますか?

A 極端にポジティブなので、あまり落ち込みません(笑)。もう一歩前に進みたいときは、自然の中で日向ぼっこをします。

DATA 活動拠点: フィリピン www.wenglish.jp



57 Changemakers' Learning Camp
ISL Team-Y
世羅侑未さん
YUMI SERA

本心に従って行動する
リーダーを育みたい。

『Changemakers' Learning Camp』ディレクターやNPO法人『ISL Team-Y』代表として活動する世羅さん。どちらも、「何のために今生きるのか」を自分自身に問い、その答えに対して意志を持って実際に取り組む、ということを実践する教育機関だ。「カナダに、ActionやArtを通じてリーダーシップを学ぶプログラムを行う『ALIA INSTITUTE』という団体があるのですが、私は日本にも同様な機関を立ち上げたいと思っています」と夢を語る。



『Changemakers' Learning Camp』での、農業体験によるワークショップ。

Q 知り合いを増やす方法は?

A 「この人おもしろいな!」という直感に素直になり、そう思った人と出会ったら、必ず仲よくなって帰る。

DATA 活動拠点: 東京都ほか www.ashtane-net.com



KAI-OTSUCHI
三浦理恵子さん
RIEKO MIURA

61

ICTによる雇用創出で
大槌町の未来を拓く。

岩手県の大槌町と大阪の関西大学の連携によって生まれた、スマートフォンなど向けのアプリ開発を手がける一般社団法人『KAI-OTSUCHI』。ディレクターを務める三浦さんは、「今は「被災地」だから来る仕事もありますが、実力をつけて、私たちだからこそ任せられる仕事を増やせるよう、技術力やデザイン力を磨かれています」と話す。世界に通用するアプリをつくり、大槌町を日本のシリコンバレーにするのが目標だ。



プログラミング経験のなかった三浦さんは、研修を受けてアプリ制作スキルを習得した。

Q 知り合いを増やす方法は?

A 特に方法やコツはありませんが、「一期一会」で、出会いではその瞬間を大切にしています。

DATA 活動拠点: 岩手県・大槌町
www.kai-otsuchi.com



60 アトリエA
赤荻洋子さん
YOKO AKAOGI

子どもたちが自由に
制作できる場を提供。

ダウン症や自閉症の子どもたちを対象とした絵の教室『アトリエA』を、夫とともに主宰する赤荻さん。「障がいや年齢を問わずだれもが参加できる」「いつまでもずっと続ける」ということを目標に、出会いを大切にしながら、毎回のアトリエAをていねいに運営することを心がけている。「今年はアトリエAの10周年記念なので、子どもたちやスタッフによるライブやダンスなどを中心としたイベントを秋に開催しよう」と計画しています。



『アトリエA』の教室の隣にある公園で、みんなで自分の作品を持って記念撮影。

Q ラッキーアイテムを教えてください!

A 自分の子どもたちの写真。3人の笑顔を見ていると、いつの間にか自分も微笑んでいます。

DATA 活動拠点: 東京都渋谷区
http://atelier-a.petit.cc



尾畑酒造
尾畑留美子さん
RUMIKO OBATA

59

酒造りを通して
佐渡の魅力を発信。

佐渡の地酒「真野鶴」の蔵元を継ぎ、国内外で精力的に活動する尾畑さん。環境に優しい朱鷺認証米を使った佐渡ならではの酒造りや、大学生など若い飲み手の育成にも尽力している。また、2010年に廃校になった「日本で一番夕陽がきれいな小学校」を、酒の学びができる新しい交流拠点「学校蔵」として再生させるプロジェクトも推進中。「日本酒を通して佐渡の魅力を広く発信し、この島の未来の可能性を探求していきたいと思っています」。



野生復帰した朱鷺と遭遇することもあるという田圃にて、酒米生産者の相田さんと。

Q ラッキーアイテムを教えてください!

A 手帳。本や会話で出会った素敵な言葉も書き込んでいて、それが自分自身へのエールになっています。

DATA 活動拠点: 新潟県佐渡市
www.obata-shuzo.com